

学習フィードバックシート

プロジェクト名： ロボット型ユーザインタラクションの実用化-「未来大発の店員ロボット」
をハードウェアから開発する- グループ名： Group 1

担当教員名： 三上貞芳先生、鈴木昭二先生、高橋信行先生 学籍番号 b1018239 氏名 木島拓海

1. 自己評価

評価項目	自己評価 (点数/満点)	評価基準
出席	10 /10	無断欠席回数： ・ 0 回(10 点) ・ 1 回(5 点) ・ 2 回(0 点)
週報	6 /10	標準点：7 点 ・ すべて提出したか？ 不備はないか？ ・ 提出期限は守られているか？ ・ 報告事項の内容は十分か？
グループ報告書	7 /10	標準点：7 点 ・ 誤字、脱字はないか？ 様式、体裁は整っているか？ ・ 十分な記述量があるか？ ・ 内容に矛盾がなく、再現性や合理性があるか？ ・ 客観的な記述がされているか？
発表会	6 /10	標準点： 7 点 ・ ポスターはわかりやすいか？ ・ 聴講者に理解してもらえたか？ ・ 説明方法は適切であったか？
外部評価	7 /10	標準点： 7 点 ・ 発表会やアンケートを通じた外部からの意見の評価・検討を十分行ったか？ ・ 外部意見を課題解決策に反映することができたか？ ・ 自分勝手な課題解決策になっていないか？
積極性・協調性	5 /10	標準点： 7 点 ・ 自ら積極的に課題を設定したか？ ・ 自ら積極的に課題の解決策を考案したか？ ・ 自ら積極的に課題を解決したか？ ・ 課題設定・解決のために議論を十分行ったか？ ・ メンバーとお互いに協力し合ったか？
計画性	12 /20	標準 14 点 ・ 適切な作業計画を立てることができたか？ ・ 適切な作業分担を行えたか？ ・ 計画通りに作業を進めることができたか？ ・ 必要に応じて柔軟に計画を修正できたか？
成果	12 /20	標準 14 点 ・ プロジェクト遂行に必要な知識・技術を獲得できたか ・ プロジェクトへの貢献は十分であったか 自分たちが納得できる成果が得られたか？
合計点	65 /100	

(注)週報の不備を、システム情報科学実習のホームページ→週報の提出確認のページから確認すること。

2.理由

まず、週報に関しては、グループ週報に関しては不備なく提出期限までに提出したが、個人週報に関しては、前期 6 月分の一部週報に活動期間を誤った期間で提出してしまったことがあり上記の点数とした。発表会に関しては、ポスターや動画等はわかりやすく聴講者に理解したと思えるが、質疑応答時間が十分に取れず一部の聴講者の十分な質疑応答が出来ずになってしまったため上記の点数とした。積極性・協調性、計画性、成果に関しては、対面でなくオンラインということもあるが、個人的には積極的よりかなり受け身で行っていた。また、計画性と成果に関しても、個人的には蔦屋で購入した工作物を作ただけで大きな成果があったとは思わなかったため上記の点数としたが、グループとしては、計画性や成果に関しては大きくあったと思う。現時点でグループ報告書と外部評価に関しては、作成、検討をまだ行っていないため標準点とした。

3. 共同作業者によるコメント

コメンター氏名 宮嶋 佑：

グループ内での中間発表のスライド資料作りでは、的確な意見がもらえて助かりました。また、必要となった学習領域の割り当ての際、率先してそその学習領域に就いていました。

サイン _____

コメンター氏名藤内 悠：

木島君は話合いの場で方向性の確認や脱線をしないように適宜指摘してくれたと思います。また活動の際に多角的な視点で意見を出してくれた為、様々な間違いを早期に発見し非常に助かる場面が多くありました。

サイン _____

コメンター氏名 伊藤 壱：

木島君はどんな状況でも軽快に話をしてくれるので、多くの班員がその雰囲気になまされたと思います。これからも持ち前の気前の良さでプロジェクトを支えてほしいと思います。

サイン _____

3. 担当教員によるコメント

教員サイン 三上貞芳

教員サイン 鈴木昭二

教員サイン 高橋信行

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳先生、鈴木昭二先生、高橋信行先生
氏名	木島拓海
学籍番号	b1018239
クラス	C

現時点における学習目

標は何ですか。(複数回答可)	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 教員とのコミュニケーション; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法; 作業を楽しく行う方法; 作業を効率よく行う方法; 課題の設定方法; 課題の解決方法
----------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

プロジェクト学習を通じて習得したい事柄を選んでください。

上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。

上記の目標達成のために、どのようなことを行う必要があると考えますか。(自由記述 200 文字以上)	オンラインでのプロジェクトが主になりやりづらい点もたくさんあると思うが、その中で積極的に課題解決に向けてどのようなことをしていけば考え、わからなければ積極的に担当教員と課題解決に向けて議論する。また、技術や知識を習得をする上でどのようなことを学べばいいのか、課題解決に向けてどのように効率よく学習すればいいのかを考えていく。
---------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

グループメンバーと協

働することにより、課題を見出し、解決できる	あまりできない
-----------------------	---------

活動を成功させるため

に必要な努力をする自信がある	まあまあできる
----------------	---------

証拠に基づいて意見を述べることができる

あまりできない

自分で行った結果に対

して責任を持つことができる	まあまあできる
---------------	---------

収集した情報を体系的
に整理し、活用すること あまりできない
ができる

さまざまなコミュニケー
ションの場面において、
他者の話を注意深く、 あまりできない
忍耐強く、誠実に聞き、
正しく理解できる

活動の中で壁に直面し
たり、競争のプレッシャ
ーがあっても、目標の あまりできない
達成に向けてやり抜く
ことができる

読み手や目的に合わ
せて、正確にわかりや
すい文章を書くことが あまりできない
できる

自分とは異なる意見が
提示された際、冷静に
分析し、自分の考え方 まあまあできる
を再考したり修正したり
できる

情報を調査・整理・評
価・伝達・共有する手
段として ICT を利用で あまりできない
きる

グループのメンバーの
状況を理解し、支援す まあまあできる
る

どのような状況におい
ても意欲的に活動に取 あまりできない
り組むことができる

さまざまな情報源から
必要な情報を効率的に できる
探すことができる

プライバシーや文化の
差異に配慮して、責任
をもって注意深くインタ できる
ーネット環境を利用で
きる

守秘業務、プライバシ
ー、知的所有権に配慮
しながら、身近な問題
を解決するために、正 まあまあできる
確かつ創造的に ICT を
利用できる

他人に関心を寄せ、他
人を尊重することがで できる
きる

グループが目指す成果
に到達するために優先
順位をつけ、計画を立て、運営できる
あまりできない

正しい文法・語彙を使
って話したり、書いたり まあまあできる
できる

社会で一般に容認・推
進されている行動規範
にしたがって行動でき
る まあまあできる

他者を信頼し、共感す
ることができる まあまあできる

活動を粘り強く行うた
めに必要な集中力があ まあまあできる
る

情報を批判的かつ入
念に検討し、評価でき まあまあできる
る

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳先生、鈴木昭二先生、高橋信行先生
氏名	木島拓海
学籍番号	b1018239
クラス	C
配属時における学習目標は何でしたか。(複数回答可)	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 教員とのコミュニケーション; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法; 作業を楽しく行う方法; 作業を効率よく行う方法; 課題の設定方法; 課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	前期はのプロジェクトは全てオンラインであったためとても進めやすかったため教員とのコミュニケーションをしっかりと取れたかと聞かれるとなかなか難しいが、後期では実際に上記の目標達成のため大学に行ってプロジェクトを行うと思うので率先にコミュニケーションを図っていききたいと思います。また、知識の習得にいましたか。(自由記述 200 文字以上)
	前期は、蔦屋書店にはロボット工作のものを買って習得した。応用に関しては前期中そこまで時間がなかったので進んでいない。また、google ジャムボードを用いていて意見交換を行うことで相互理解をしやすい形で行えたと思うし、課題解決をしやすかったと思う。
前期の活動を終えて、学習目標は変化しましたか？	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 教員とのコミュニケーション; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法; 作業を楽しく行う方法; 作業を効率よく行う方法; 課題の設定方法; 課題の解決方法
現時点(7月末)における学習目標を選択してください。(複数回答可)	
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
(9 の質問で学習目標が変化した学生)	

学習目標が変わった理由は何ですか？(200文字以上)

後期, 学習目標の達成のために, どのようなことを行う必要があると考えますか。(200文字以上)

前期の活動を振り返って, 活動全体の印象や感想を書いてください。(自由記述 200文字以上)

グループメンバーと協

働することにより、課題
を見出し、解決できる

活動を成功させるため

に必要な努力をする自信がある

証拠に基づいて意見を
述べることができる

自分で行った結果に対して責任を持つことができる

収集した情報を体系的

に整理し、活用することができる

実際にロボットのプロタイプを作っていくことで技術、知識を学びさらに Arduino などに応用できるように感えていく。さらに、CAD などを用いて問題点を探し課題を設定し解決方法を探していく。また、前期はオンラインだったが、後期からは大学に行って実際にプロジェクトができることが多くなると思うがそこで課題解決に向けてどのようなことをしていけば考え、わからなければ積極的に担当教員と課題解決に向けて議論していきたいと考えている。

対面でなくオンラインということもあるが、個人的には積極的よりかなり受け身になりがちだった。個人の成果では蔦屋で購入した工作物を作れただけで大きな成果はあまりなかったと思う。プロジェクト全体としては、オンラインだけのやりとりだけだったがそれなりにうまく計画性や協調性を持てたと思います。オンラインではあったが、オンラインなりに google ジャムボードを使って意見交換を行ったりして、意見交換をわかりやすく伝えるために工夫しながらできたと思う。

あまりできない

あまりできない

あまりできない

できる

まあまあできる

さまざまなコミュニケーションの場面において、
他者の話を注意深く、あまりできない
忍耐強く、誠実に聞き、
正しく理解できる

活動の中で壁に直面し
たり、競争のプレッシャーがあっても、目標の
達成に向けてやり抜くこ
とができる

読み手や目的に合わせて、正確にわかりやす
い文章を書くことができる
まあまあできる

自分とは異なる意見が
提示された際、冷静に
分析し、自分の考え方を
再考したり修正したり
できる

情報を調査・整理・評
価・伝達・共有する手段
として ICT を利用できる
あまりできない

グループのメンバーの
状況を理解し、支援す
る
あまりできない

どのような状況におい
ても意欲的に活動に取
り組むことができる
まあまあできる

さまざまな情報源から
必要な情報を効率的に
探すことができる
あまりできない

プライバシーや文化の
差異に配慮して、責任
をもって注意深くインタ
できる

ーネット環境を利用できる

守秘業務、プライバシー

一、知的所有権に配慮

しながら、身近な問題を
解決するために、正確

まあまあできる

かつ創造的に ICT を利用
できる

他人に関心を寄せ、他

人を尊重することができ
る

できる

グループが目指す成果

に到達するために優先

順位をつけ、計画を立て、

運営できる

まあまあできる

正しい文法・語彙を使っ

て話したり、書いたりでき
る

まあまあできる

社会で一般に容認・推

進されている行動規範

にしたがって行動できる

できる

他者を信頼し、共感す

ることができる

まあまあできる

活動を粘り強く行うため

に必要な集中力がある

あまりできない

情報を批判的かつ入念

に検討し、評価できる

あまりできない

あなたは前期のプロジ

ェクト学習に意欲的に

取り組みましたか？

どちらともいえない

前期の活動を行ったこ

とにより、あなたはプロ

ジェクト学習の内容に

興味を持てた

興味を持てるようになり
ましたか？

前期のプロジェクト学習
の活動は、あなたの今 役に立つ
後に役立つと思います
か？

今後、同じようプロジェ
クトを行うことになった どちらともいえない
ら、もっとうまくやれる自
信がありますか？

前期のプロジェクト学習
の活動に満足していま どちらともいえない
すか？

オンラインでの発表に
関して、問題点の指摘
や改善方法の提案など 15 分で行うには時間が少ないと感じました
があれば記してくださ
い。